



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年5月12日

上場会社名 株式会社インタースペース 上場取引所 東
 コード番号 2122 URL <http://www.interspace.ne.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 伸一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理管掌 (氏名) 岩淵 桂太 TEL 03(5339)8680
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	9,106	15.6	111	△75.2	117	△74.0	1	△99.2
26年9月期第2四半期	7,879	11.9	449	92.6	450	92.1	254	199.7

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 21百万円 (△91.7%) 26年9月期第2四半期 255百万円 (208.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	0.29	0.28
26年9月期第2四半期	37.76	37.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第2四半期	5,763	2,717	47.1	400.62
26年9月期	5,595	2,747	49.1	406.20

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 2,717百万円 26年9月期 2,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,630	11.0	323	△58.5	340	△57.0	69	△82.1	10.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期2Q	6,967,200株	26年9月期	6,947,200株
② 期末自己株式数	27年9月期2Q	184,069株	26年9月期	184,044株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期2Q	6,769,011株	26年9月期2Q	6,752,136株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策の継続を背景とした輸出企業の業績回復、国内の雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調となりました。一方、急激な為替変動による円安の影響や消費税増税後の個人消費低迷の長期化などのリスクが顕在化し、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

平成27年2月24日株式会社電通発表の「2014年日本の広告費」によると、当社グループが属するインターネット広告市場は昨年初めて1兆円を突破しました。スマートフォン市場の成長や動画広告など、新たな手法の広告配信の浸透や、リスティング広告、DSPなど運用型広告が大きく伸ばしたことが原因となっており、引き続き拡大が見込まれております。

こうした事業環境のもと、当社グループは「既存事業の基盤強化」「国内外子会社の収益力強化」「優秀な人材の採用・育成」の3つの目標を掲げ、事業拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、9,106百万円(前年同期比15.6%増加)、営業利益は111百万円(前年同期比75.2%減少)、経常利益は117百万円(前年同期比74.0%減少)、四半期純利益は1百万円(前年同期比99.2%減少)となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりであります。

<インターネット広告事業>

当事業は、インターネットを活用した成果報酬型広告であるアフィリエイトサービスを主軸に展開しております。主力のアフィリエイトサービス「アクセストレード」につきましては、主力の金融カテゴリーについて売上は順調に推移したほか、広告主各社の年度末における広告需要期の影響もあり、eコマースカテゴリーで前年同期比約60%と大幅に増加し、エステ・人材派遣業などの広告を扱うサービスカテゴリーも大きく増加いたしました。一方、店舗型アフィリエイトにおいては、携帯販売台数の減少が影響し、3月の繁忙期には増加が見られたものの、累計期間では前年同期実績を下回る結果となりました。また、金融カテゴリーを中心に、媒体掲載のシェアを高める背景から、媒体への支払い報酬が増加したことによる粗利率の低下、今期の計画にある人員獲得などのコストが増加し、セグメントでは増収減益となりました。

海外事業においては、各国のアフィリエイトサービス拡大に向け、鋭意広告主およびアフィリエイトパートナーの開拓を進めておりますが、まだ収益への寄与には時間がかかる状況です。新しいサービスの開発や、今後の中核となる人材確保・教育に引き続き注力してまいります。

これらの結果、当事業の売上高は8,731百万円(前年同期比21.3%増加)、営業利益は171百万円(前年同期比60.0%減少)となりました。

<メディア運営事業>

当事業は、日本最大級のママ向けコミュニティサイト「ママスタジアム」の運営を主軸に、ソーシャルプラットフォーム向けに、アプリの企画開発、提供などを行っております。「ママスタジアム」においては、大手キューレーションメディアとの連携や、ニュース記事の配信を引き続き強化し、ユニークユーザー数では平成27年1月に280万人を突破し、順調に売り上げを伸ばしております。一方、恋愛ソーシャルゲームにおいては、平成26年12月に新規タイトル『Bonjour♪恋味パティスリー』をリリースし、売上の増加に注力したものの、当初のリリース予定より遅延したことなどが影響し、前四半期に引き続き厳しい状況となりました。また、平成27年3月には、これまでに70万人を超えるユーザーが利用した人気タイトル『艶が〜る』を、株式会社シーエー・モバイルより事業を譲り受け、『艶が〜るプレミアム』として、Amebaプラットフォームへリリースいたしました。今後事業精査も含め見直しを図り、早期の収益改善を目指してまいります。

これらの結果、当事業の売上高は375百万円(前年同期比45.1%減少)、営業損失は60百万円(前年同期は営業利益20百万円)となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、168百万円増加し5,763百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が278百万円、固定資産が212百万円増加した一方、現金及び預金が327百万円減少したことによります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ、198百万円増加し3,046百万円となりました。これは主に、買掛金が352百万円増加した一方、未払法人税等が123百万円減少したことによります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、29百万円減少し2,717百万円となりました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が52百万円減少したことによります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ327百万円減少し、1,843百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の収入は13百万円（前年同四半期 89百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益111百万円を計上した他、仕入債務の増加355百万円があった一方、法人税等の支払額225百万円、売上債権の増加278百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の支出は284百万円（前年同四半期 33百万円の支出）となりました。

これは主に、有形・無形固定資産の取得による支出187百万円、差入保証金の差入れによる支出54百万円、投資有価証券の取得による支出43百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の支出は64百万円（前年同四半期 47百万円の支出）となりました。

これは主に、配当金の支払額53百万円、及び社債の償還による支出14百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月11日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,471,599	2,143,608
受取手形及び売掛金	2,087,386	2,365,585
その他	113,633	119,256
貸倒引当金	△1,869	△1,846
流動資産合計	4,670,749	4,626,604
固定資産		
有形固定資産	169,590	197,560
無形固定資産	306,399	363,642
投資その他の資産	448,438	575,861
固定資産合計	924,428	1,137,064
資産合計	5,595,177	5,763,668
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,136,304	2,489,205
1年内償還予定の社債	28,000	28,000
未払法人税等	232,547	108,861
賞与引当金	99,607	99,193
その他	263,434	235,089
流動負債合計	2,759,894	2,960,349
固定負債		
社債	30,000	16,000
その他	58,067	69,874
固定負債合計	88,067	85,874
負債合計	2,847,962	3,046,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	981,597	984,653
資本剰余金	725,000	725,000
利益剰余金	1,124,865	1,072,691
自己株式	△100,013	△100,037
株主資本合計	2,731,449	2,682,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,572	23,149
為替換算調整勘定	8,193	11,987
その他の包括利益累計額合計	15,766	35,136
純資産合計	2,747,215	2,717,444
負債純資産合計	5,595,177	5,763,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	7,879,139	9,106,805
売上原価	6,242,378	7,567,323
売上総利益	1,636,760	1,539,482
販売費及び一般管理費	1,186,991	1,427,930
営業利益	449,768	111,551
営業外収益		
受取手数料	962	1,500
助成金収入	1,196	740
為替差益	67	6,712
その他	978	1,334
営業外収益合計	3,204	10,286
営業外費用		
投資事業組合運用損	1,524	3,601
その他	622	928
営業外費用合計	2,147	4,529
経常利益	450,826	117,308
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,209
特別利益合計	—	1,209
特別損失		
減損損失	2,650	7,218
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	2,650	7,218
税金等調整前四半期純利益	448,175	111,299
法人税、住民税及び事業税	195,361	103,122
法人税等調整額	△2,161	6,246
法人税等合計	193,200	109,368
少数株主損益調整前四半期純利益	254,975	1,931
四半期純利益	254,975	1,931

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	254,975	1,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172	15,577
為替換算調整勘定	—	3,793
その他の包括利益合計	172	19,370
四半期包括利益	255,147	21,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	255,147	21,301
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	448,175	111,299
減価償却費	82,066	88,461
減損損失	2,650	7,218
のれん償却額	6,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,119	10,830
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,650	△414
受取利息及び受取配当金	△850	△221
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,209
投資事業組合運用損益(△は益)	1,524	3,601
社債利息	136	82
為替差損益(△は益)	—	△4,461
売上債権の増減額(△は増加)	△532,611	△278,198
仕入債務の増減額(△は減少)	328,051	355,110
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,873	△38,365
その他	△12,463	△14,675
小計	332,336	239,058
利息及び配当金の受取額	835	315
利息の支払額	△496	△82
法人税等の支払額	△243,660	△225,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,015	13,552
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,798	△65,652
無形固定資産の取得による支出	△61,663	△122,120
投資有価証券の取得による支出	△22,829	△43,833
投資有価証券の売却による収入	—	1,210
定期預金の払戻による収入	100,000	—
貸付けによる支出	△6,175	△500
貸付金の回収による収入	197	240
差入保証金の差入による支出	—	△54,942
差入保証金の回収による収入	1,244	778
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,025	△284,819
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△14,000	△14,000
株式の発行による収入	140	3,056
自己株式の取得による支出	—	△23
配当金の支払額	△33,562	△53,580
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,422	△64,548
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	7,825
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,568	△327,990
現金及び現金同等物の期首残高	2,287,578	2,171,599
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	41,600	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,337,746	1,843,608

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。